

会 議 録

会議名	令和８年度 第１回 橋本市新庁舎整備検討委員会	
日時	令和８年７月２３日（木）午後２時００分～午後４時００分	
出席者	委員	濱田委員、川角委員、中西委員、大西委員、岸田委員、笹井委員【出席委員：６名】
	事務局	総合政策部 井上部長 政策企画課 辻本課長、城野課長補佐、岡浦係長、大萩主査 (策定支援業者：(株)ニュージェック)
公開状況	公開	
傍聴者	３名	
次第	１．開会 ２．協議事項 （１）基本計画段階の検討スケジュール、基本計画骨子について （２）基本計画検討案（第１章～第２章） （３）新庁舎等における導入機能について （４）意向把握調査等について ３．その他 次回の議事（予定）と開催時期 ４．閉会	
資料	資料１－１ 基本計画骨子案・委員会議題案 資料１－２ 橋本市庁舎検討全体スケジュール 資料２－１ 第１章 はじめに（検討案） 資料２－２ 第２章 基本的な考え方（検討資料） 資料３ 第３章 新庁舎等の導入機能（検討資料） 資料４－１ 橋本市新庁舎等整備基本計画 意向把握調査（実施概要） 資料４－２ サウンディング調査について（説明資料）	

１．開会

- ・事務局より開会の挨拶、資料の確認。
- ・６名の委員出席により会議成立の報告。
- ・本日の議事について公開することが決定し、傍聴者３名が入場。
- ・会議録記名委員について、川角委員と岸田委員が委員長から指名される。

2. 議事

- (1) 基本計画段階の検討スケジュール、基本計画骨子について
(事務局から基本計画段階の検討スケジュール、基本計画骨子について資料1-1、1-2に基づき説明)

【主な意見】

・「機能」という言葉を使うのは良いですが、どのような意味を持ち、新庁舎ではどのように展開されるのか、言葉の定義を明確にして伝え進めていかなければ、意味が分からないと思います。

・現在の状況で、足りないもの、改善すべき要素があり、それを改善する、あるいは、新たなものを加えていく進め方はあると思いますが、それを「機能」として説明するとわかりにくくなると感じます。「機能」で全面的に組み立てていこうとされている点がうまくいかないように思います。

・第3章の構成を改めて確認すると、「(3) 誰もが利用しやすく開かれた庁舎にぶら下がる項目には、「機能」という言葉が出てきません。ここから、全てを「機能」で分類しているわけではないということが伺えます。例えば「情報発信ではこのようなことをします」という書き方で十分ではないかと思います。「機能」の整理から外れたところで「機能」を使っている点に違和感があり、そこが修正点なのではないかと思います。

- (2) 基本計画検討案（第1章～第2章）
(事務局から基本計画検討案について、資料2-1、2-2に基づき説明)

【主な意見】

・様々な人の意見を聞いて総合的にまとめれば良いですが、意見を伺うほど様々な要求が出てきて、まとめることが困難になります。ただし、キャパシティは決まっているため、それを資源として配分することがファシリティマネジメントだとすると、それを納得してもらう方向にビジョンを示すことが、この委員会の役割なのではないかと考えています。そのため、このような方針を示すだけでも、十分に価値があると考えます。

・「機能」という言葉が適切かに関して、言葉の揺らぎがある部分をうまく整理できれば、この流れで良いのではないかと思います。

- ・単に機械やD Xを導入すれば良いのではなく、事務処理規程や内部のルールについても合わせて見直さなければ、本当の意味でのワンストップ化は難しく、様々なところに影響が出るだろうと感じています。
- ・基本計画は、市民に示すことも役割のひとつですが、（P F I でなければ）次の段階である設計につながるものであることが、もうひとつの役割としてあるかと思います。基本計画は設計と異なり、記載内容が詳細には定められていないため、基本設計につなげるために、決まっていることを明確に示すべきかと思ひますし、現段階で決まていないものについてはそれが分かるよう記載する必要があると思ひます。
- ・考える範囲を明確に切り分けて、庁舎に該当しない部分を別途検討する等の形をとる必要があると思ひますし、すでに内部検討されたものがあるのであれば、そちらを見せてもらわなければ、新庁舎の検討は難しいと感じます。
- ・きちんと流れが分かるようにしていただければ、まだ「新庁舎等」という曖昧なものを多少議論できるのではないかとと思ひますが、時間の猶予は無いかと思ひます。

（３）新庁舎等における導入機能について

（新庁舎等における導入機能について、資料３に基づき説明＞

【主な意見】

- ・要素を配置するだけでなく、ハンディキャップのある方から見て必要な方策が漏れなく実現できるのかのチェックが重要だと考えます。そのため、詳細設計の段階において、例えば橋本市身体障害者連盟の方が内容を確認できるような仕組みを考えていただきたいと思ひます。
- ・ユニバーサルデザインは重要な支援ですが、ユニバーサルデザインの中だけで完璧に対応することは難しく、ある程度サポートする仕組みが必要となります。例えば、来訪日時をお伝えされたときに、入り口でお迎えにあがり手続きまで案内できるととてもスムーズに対応できるかと思ひます。
- ・すでに検討されているかもしれませんが、外壁や屋根仕上材等の選定段階において、イニシャルコスト（初期費用）を安くあげるのではなく、維持管理費が安くなる、可能であればノーメンテナンスで管理できるものを選定すること

で、数十年単位の長期で見たときに財政負担軽減のメリットが出てくるのではないかと思います。

- ・会議室を一元管理することは良いことだと思いますが、誰が清掃をするのかなどの検討事項が新たに出てくるかだと思います。細かく実態を把握したうえで決めていく必要があると思います。

(4) 意向把握調査等について

(意向把握調査等について、資料4-1、4-2に基づき説明)

【主な意見】

- ・コストについて、建設費のコスト縮減であればゼネコンへのヒアリングや、例えばDBで実施することが縮減に繋がると思います。PFIの場合、床を貸すことによる賃料収入を想定されているかと思うので、その可能性を探るのが良いと思います。

サービス向上について、清掃等を想定すると、現時点ですべてを委託しているわけではなく、仮に委託したからと言って職員を減らせるというわけでもないと思うので、そういった視点から考えると、PFIでは、あまりサービス向上を期待できないのではないかと思います。

- ・本日の資料の中で、「ZEB」や「BEMS」、「PPP/PFI」等、様々な専門用語が出てきているかと思います。それらが何を意味するか説明を付けていただけると、言葉の意味を考える必要がなくなり、話も入ってきやすくなるので、対応していただければと思います。

3. その他

- ・次回会議日程について、9月頃で調整予定。